

海況速報

平成 18 年度 第 6 号 (通算 No.114)
平成 19 年 3 月 15 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

2 月上旬から 3 月上旬の海況

時化のため、日本海側は十分な観測ができず、観測期間も異なるため日本海海域は 3 つに分けて水温分布図を作成しています。

日本海海域

積丹半島沖の観測が十分にできませんでした。石狩湾では表面水温が 5 ~ 7 の範囲にありほぼ平年並みの水温となっています。余市における 1 月上旬以降 3 月上旬までの沿岸水温 (旬平均) は、1 月上旬から下旬にかけて「やや低い」から「かなり低い」で推移しましたが、2 月上旬に「平年並み」となり 2 月中旬から下旬に「やや高い」から「かなり高い」となりました。その後 3 月上旬には「平年並み」となっています。

道東太平洋海域

145E に沿って南から暖水が入り込んでいます (例えば 100m 層水温で 6 以上)。このため親潮 (例えば 100m 層 2 以下の海域) におおわれた海域は、例年より狭くなっています。水温偏差について見ると (水温偏差表参照) 暖水の入り込んだ 145E の厚岸沖観測線で平年より高いところが多くなっています。特に 42-15N の表面から 100m 層まで平年より 4 以上高くなっています。144E 白糠沖観測線でも平年より高いところが多くなっています。

道南太平洋海域

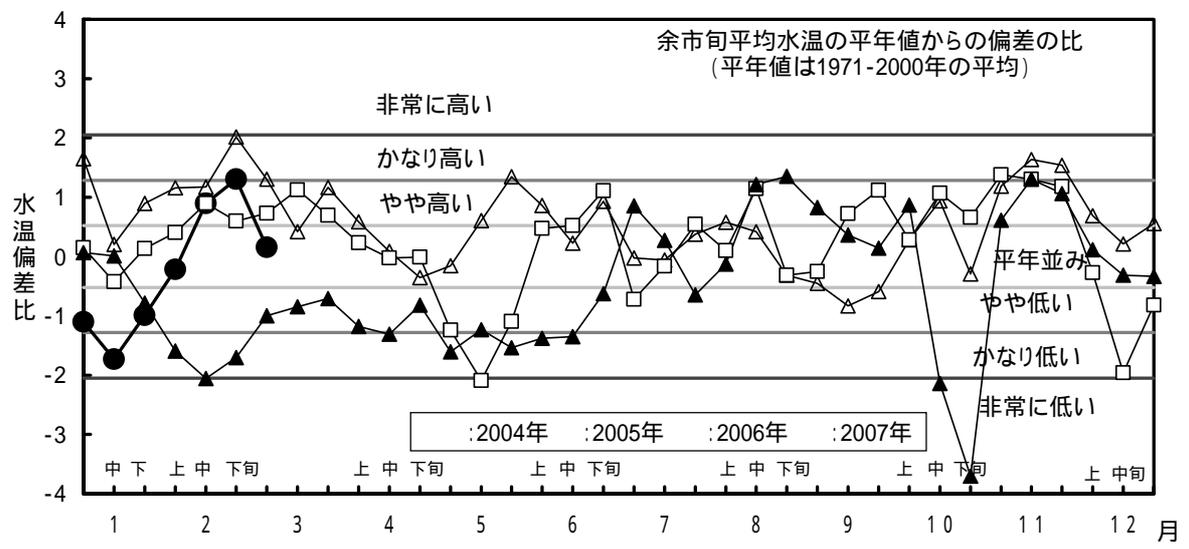
表面水温で 1 以下の沿岸親潮 (*1) が襟裳岬から門別 (142E) 付近まで伸びています。噴火湾中央部では 50m 層まで 5 以下となっていますが、沿岸親潮は噴火湾へは本格的に流入していないようです。水温についてみると (水温偏差表参照) 白老沖観測線の 42N 以北の海域で (P61 ~ P63)、水温がやや高くなっています。なお、津軽暖流の流量の指標となる深浦 - 函館間の水位差によると、昨年 12 月は平年並みでしたが、2007 年 1 月は津軽暖流流量が平年より多くなっています。

オホーツク海海域

海氷のため観測はありません。

資料	観測期間	観測海域
釧路水試（北辰丸）	2007/02/19-02/22	（道東道南太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2007/02/07-02/09	（道南日本海海域）
函館水試（金星丸）	2007/02/26-03/01	（道南太平洋海域）
稚内水試（北洋丸）	2007/02/05-02/07	（道北日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	2007/02/06-02/06	（道西日本海海域）

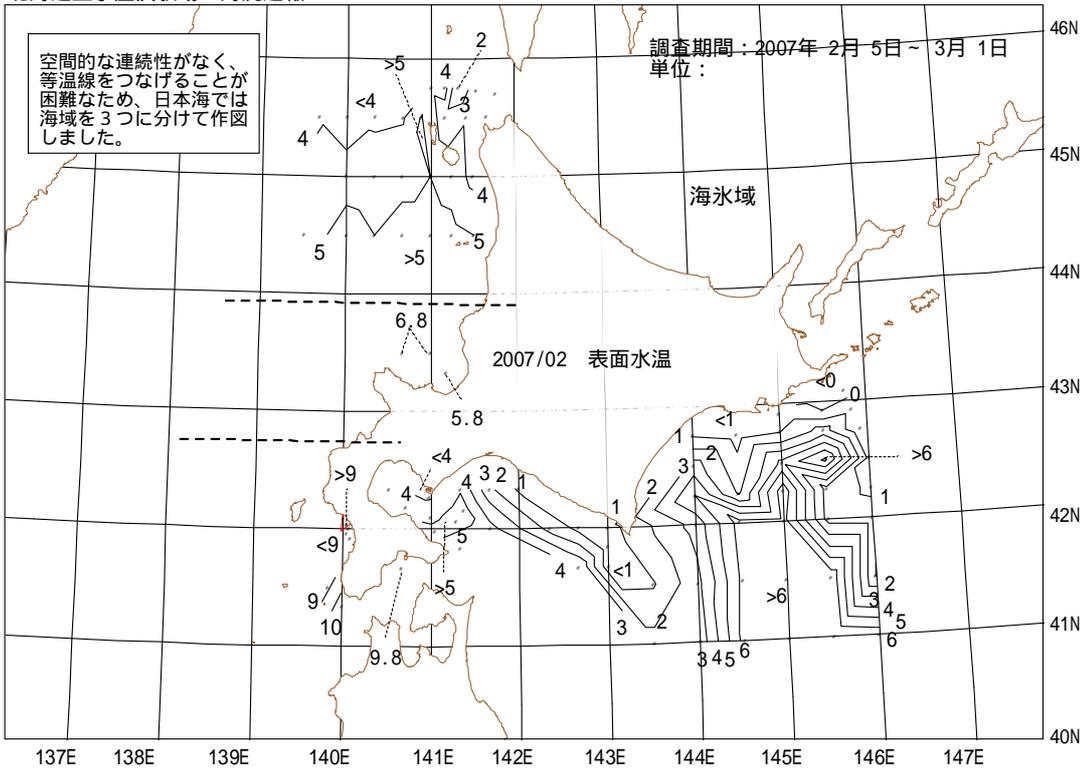
* 1：オホーツク海の海氷の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。



余市前浜水温はホームページでもご覧になれます。
<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>
 また、余市前浜水温の携帯サイトはこちら
<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>
 右に QR コードがあります。



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

